

モーリス Q&A

<p>Q1</p>	<p>成分は何ですか？ なぜ安全なのですか？</p> <p>回答1 厚生労働省認可の食添殺菌剤である次亜塩素ナトリウムと希塩酸をサイクロン方式で希釈し混合した生成水ですから安全なのです。</p>
<p>Q2</p>	<p>どんな菌に効果があるのですか？</p> <p>回答2 枯草菌、黒コウジカビのような強い菌からO-157やサルモネラ菌、黄色ぶどう球菌まで、ほとんどの菌に有効です。</p>
<p>Q3</p>	<p>間違っ飲んで大丈夫ですか？</p> <p>回答3 飲んでも胃腸に届くまでに有機物と反応して水にもどるため、人体に害はありません。</p>
<p>Q4</p>	<p>下水に流した時、浄化槽の有用バクテリアを殺さないのですか？</p> <p>回答4 モーリスは、細菌・有機物に接触するとすぐに水にもどり残留しません。従って、浄化槽の有用微生物にダメージを与えません。これに対し、一般の次亜塩素酸ソーダは高濃度になると、pH値が上がり殺菌効果が悪くなり、残留時間も濃度に比例して長くなるために、浄化槽に影響を与えてしまいます。</p>
<p>Q5</p>	<p>有効期間はどのくらいですか？</p> <p>回答5 約3ヵ月で濃度15%位低下します(200ppm →170ppm) まだまだ効力がありますが、3ヵ月位で使い切ることをお勧め致します。</p>
<p>Q6</p>	<p>モーリスはどんな所で使われていますか？</p> <p>回答6 ○医療関連施設・介護施設 ○ホテル・旅館などの宿泊業 ○食料品販売 ○食品製造工場 ○魚市場・鮮魚加工場 ○乳製品関連工場 ○レストラン・居酒屋 ○動物病院 ○水産加工場 ○給食関連施設</p>
<p>Q7</p>	<p>HACCPとは何でしょうか？</p> <p>回答7 NASA宇宙開発センターが宇宙飛行士のために開発した食品安全・安心品質製造管理システムで、食品製造プロセスにおいて危害が発生する可能性のある箇所を確認し、危害発生を事前に防止するために厳重な対策を講じるプロセス管理システムです。</p>

Q8	<p>残留塩素とは何でしょうか？</p> <p>回答8 残留塩素は遊離有効塩素(次亜塩素酸、次亜塩素イオン)と結合塩素(モノクロアミン、ジクロアミン、トリクロアミン)の二種類に分類され結合塩素は遊離有効塩素に比べて殺菌効果が落ちますが、反面、残留効果が長持ちします。また同じ遊離塩素の中でも次亜塩素に比べ、はるかに殺菌能力が大きいとされています。</p>
Q9	<p>モーリスは温度を上げると殺菌効果が上がることですが、なぜですか？</p> <p>回答9 化学反応は高温ほど分子の運動が激しくなり、それによって反応がはやくなります。一般に温度が10℃上昇するごとに、反応の早さは2～3倍になるといわれています。すなわち、約2.5倍の濃度で洗浄殺菌するのと同等の効果が得られます。</p>
Q10	<p>モーリスは消臭効果があるとのことですが、何にでも効くのですか？</p> <p>回答10 モーリスには消臭効果があり、基本的には酸化されやすい臭気には効果があります。主に生ゴミなどから発生する腐敗菌による悪臭に対しては効果があります。アンモニアは分解され、無臭無害となります。</p>
Q11	<p>モーリスを使った場合、金属を腐食させないのですか？</p> <p>回答11 モーリスの腐食性は軽微です。次亜塩素酸ソーダの希釈水(アルカリ性)や電解強酸水、オゾン水と比較して軽微です。</p>
Q12	<p>モーリスを希釈する場合には水道水でもかまいませんか？</p> <p>回答12 モーリスを薄める時は、水道水を御使用頂いても問題ありません。</p>
Q13	<p>モーリスには塩酸を使用することですが、なぜ塩酸なのですか。他の酸性のものではダメなのですか？</p> <p>回答13 pH調整用の酸として塩酸を使用する理由には、 1.食品添加物に指定されている。 2.無機物である。 以上の2点を満たし、さらに安価な酸を選定した結果です。なお、酢酸を使用して生成することも可能ですが、高価なことと非常に強い刺激臭を発生するという欠点があります。</p>
Q14	<p>モーリスは水虫に効くと聞きますが？</p> <p>回答14 水虫は、白癬菌などの皮膚糸状菌により起こる皮膚病です。水虫に対しては、モーリスを40℃ぐらいに加温し、5～6分程度浸します。これを2～3日行くと症状が改善されます、しかしその後、再び菌と接触し、繁殖する環境があれば再発します。</p>